専門実践教育訓練に関する明示書【歯科技工士科】

【対象講座】

・講座の名称	熊本歯科技術専門学校【歯科技工士科】	
・実施方法	通学（昼間）	
・指定講座番号	４３１００２６ ― ２０１００１１ ― ０	
・講座の創設年月日	昭和４４年４月１日	
・給付金対象講座の指定期間	令和５年４月１日～８年３月３１日	
・過去１年間の講座実績	R5 年 4 月入校者数（１４人）	R6 年 3 月修了者数（7 人）
・訓練期間	２ヵ年（２４ヶ月）	
・総訓練時間	１，９６８時間	

1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称	業務独占資格・名称独占資格（歯科技工士）
② ①に係る資格・試験等の実施機関	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件(受験資格)	本学科の就業期間以上在学し、所定の全科目に合格した者。（本学科の卒業認定者）
④当該技能・知識の修得が必須(有利)な職種・職域	歯科技工士・歯科医療分野

2. 教育訓練の内容

教科(カリキュラム)	時間	使用教材
別紙のとおり	１，９６８時間	別紙のとおり

3. 受講者となるための要件

①受講するにあたっての実務経験等	なし
②最低限有しておくべき資格・技能・知識等	高等学校卒業以上の者及び監督庁の定めるところによりこれと同等以上の学力があると認められる者。

4. 教育訓練の受講実績及び目標達成の状況

(1)資格所得状況

①前年度の修了者数	７人		
② ①に係る教育訓練の入校者数	１１人		
③ ②の内目標達成の受験者数	７人	受験率(③/②)	６３．６%
④ ③の内合格者数	７人	合格率(④/③)	１００．０%
⑤ ①のうち就職者数 ※1	７人		
⑥ ①のうち在職者数 ※2	０人	就職・在職率(⑤＋⑥/②)	６３．６%

※１は、①(前年度修了者)のうち、受講開始時に職についていなかった者で終了後に就職した者

※２は、①(前年度修了者)のうち、受講開始時に既に職についていた者で終了後も引き続きその職にある者及び別途就職した者

(2)講座の評価等

① (1)-①の就職状況	卒業と同時に(正規)歯科技工士として７人 (100.0%)
② (1)-①による講座の全体評価	４段階（適切 4、ほぼ適切 3、やや適切 2、不適切 1）評価中：平均 3.91

5. 教育訓練の受講による効果の把握・測定方法及び受講者への明示の方法

（１に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法）

受講学生個々の各科目への出席状況及び定期試験合格状況等に基づき、各科目の理解度等を判定するとともに、定期的な個別面談により助言・指導を行っている。

6. 受講効果の把握方法

(1)受講認定基準 （６ヶ月毎の出席率・定期試験等の基準）	各受講科目について、出席率 2/3 以上・定期試験得点率 60%以上。実習は基本全出席。
(2)受講認定基準に係る教育目標に対する技能 （知識のレベル到達度把握・測定方法）	各科目について、定期試験得点は 5 段階評価(S=100 点～90 点、A=89 点～80 点、B=79 点～70 点、C=69 点～60 点、D=59 点以下)とし、60 点以上を合格。実習は実習先からの評価と担任の評価を総合し合否判定。
(3)終了認定基準 （出席率・定期試験等の基準）	全科目について、出席率 2/3 以上・定期試験得点率 60%以上により卒業単位を全て満たすこと。
(4)終了認定基準に係る教育目標に対する技能 （知識のレベル到達度把握・測定方法）	卒業認定・称号授与方針(デイプロマポリシー)として、学則第 25 条により教務会議の決議を経て学校長が卒業を認定、及び第 26 条により専門士の称号を授与。

7. 受講中又は終了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1)受講中の者に対する習熟度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	学生個々の状況に応じて、定期的な個別面談により助言・指導・必要に応じて補講等を行っている。
(2)受講中又は終了時における資格取得・就職への具体的バックアップ体制	学生個々の状況に応じて、定期的な個別面談により助言・指導及び国試対策を行っている。又就職対策として、各種機関から寄せられる就職情報等を公開するとともに、学生個々の意向及び気質等を勘案し個別に就職支援を行っている。

8. その他の事項

・指定教育訓練実施者及び代表者名	学校法人　中島学園　　（理事長　中島　英男）
・住所及び連絡先	〒860-0811 熊本市中央区本荘 3-1-6　℡096-371-6581
・施設名称及び施設長名	熊本歯科技術専門学校　（学校長　中島　英男）
・住所及び連絡先	〒860-0811 熊本市中央区本荘 3-1-6　℡096-371-6581

苦情受付者	事務長　吉田　正明	事務担当者	事務主任　西本　基子
連絡先	℡096-371-6581	連絡先	℡096-371-6581

専門実践教育訓練経費の支払い方法	①一括払　　②分割払　　③両方併用

1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費（①+②）　　２，２４０，０００円

①入学料(税込額) ※は割引・還元措置の場合の額	４００，０００円	本校卒業生親族の場合 50%へ措置 ※200,000 円(-200,000)
②受講料(税込額) ※は割引・還元措置の場合の額	第１学年　第１期：４６０，０００円 〃　第２期：４６０，０００円 第２学年　第３期：４６０，０００円 〃　第４期：４６０，０００円	第１期に以下の額へ措置 ※特待Ａ：160,000 円(-300,000) ※特待Ｂ：360,000 円(-100,000) ※特待Ｃ：410,000 円(-50,000) 第２～４期は左記と同額

2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費（①+②+③+④）　　９４０，０００円

①任意の教材費(税込額)	７５，０００円
②実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	０円
③施設維持費(税込額)	０円
④その他(税込額)	８６５，０００円

3. 総額（1+2）　　３，１８０，０００円

（別紙）　歯科技工士科　学科授業単位・授業時間数

教育分野	学科名		単位	時間数	1年		2年	
基礎分野			**5**	**96**	**単位**	**時間数**	**単位**	**時間数**
科学の技術の基盤 人間性と社会生活との理解	外国語	講	1	16			1	16
	歯科技工造形学	講	1	16	1	16		
	情報リテラシー	講	1	16			1	16
		実	1	32			1	32
	コミュケーション学	講	1	16	1	16		
専門基礎分野			**19**	**432**	**単位**	**時間数**	**単位**	**時間数**
歯科技工と歯科医療	歯科技工学概論	講	2	32	2	32		
	関係法規	講	1	16			1	16
歯・口腔の構造と機能	歯の解剖	講	2	32	2	32		
		実	4	128	4	128		
	顎口腔機能学	講	1	16			1	16
歯科材料・歯科技工機器と加工技術	歯科理工学	講	5	80	5	80		
		実	4	128	4	128		
専門分野			**41**	**1184**	**単位**	**時間数**	**単位**	**時間数**
有床義歯技工学	有床義歯技工学	講	3	48	3	48		
		実	10	320	10	320		
歯冠修復技工学	歯冠修復技工学	講	3	48	3	48		
		実	10	320	10	320		
小児歯科技工学	小児歯科技工学	講	1	16			1	16
		実	1	32			1	32
矯正歯科技工学	矯正歯科技工学	講	1	16			1	16
		実	1	32			1	32
歯科技工実習	歯科技工実習	実	11	352			11	352
選択必修分野			**10**	**256**				
総合歯科学		講	4	64			4	64
		実	6	192			6	192
合計			**75**	**1968**	**45**	**1168**	**30**	**800**

（別紙）　歯科技工士科・使用教材

【1 学年】

	出版社名	書籍名
1	医歯薬出版	歯科技工造形学
2	〃	歯科理工学
3	〃	口腔・顎顔面解剖学
4	〃	有床義歯技工学
5	〃	歯冠修復技工学
6	〃	歯科技工管理学
7	〃	①歯科技工と歯科医療
8	〃	②歯・口腔の構造と機能
9	〃	③歯科材料・歯科技工機器と加工技術
10	〃	④有床義歯技工学
11	〃	⑤歯冠修復技工学
12	〃	⑥歯科矯正技工学・小児歯科技工学
13	〃	歯の解剖　歯のデザインと歯型彫刻
14	〃	歯科技工国家試験問題集
15	〃	歯科技工辞典

【1 学年】

	出版社名	書籍名
1	医歯薬出版	顎口腔機能学
2	〃	矯正歯科技工学
3	〃	小児歯科技工学
4	〃	歯科技工士のための図解歯科英語

専門実践教育訓練に関する明示書【歯科衛生士科】

【対象講座】

・講座の名称	熊本歯科技術専門学校【歯科衛生士科】	
・実施方法	通学（昼間）	
・指定講座番号	４３１００２６ ― ２０１００２１ ― ３	
・講座の創設年月日	昭和５３年４月１日	
・給付金対象講座の指定期間	令和５年４月１日～８年３月３１日	
・過去１年間の講座実績	R5 年 4 月入校者数（４４人）	R6 年 3 月修了者数（４１人）
・訓練期間	３ヵ年（３６ヶ月）	
・総訓練時間	２，６９５時間	

1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称	業務独占資格・名称独占資格（歯科衛生士）
② ①に係る資格・試験等の実施機関	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件(受験資格)	本学科の就業期間以上在学し、所定の全科目に合格した者。（本学科の卒業認定者）
④当該技能・知識の修得が必須(有利)な職種・職域	歯科衛生士・歯科医療分野

2. 教育訓練の内容

教科(カリキュラム)	時間	使用教材
別紙のとおり	２，６９５時間	別紙のとおり

3. 受講者となるための要件

①受講するにあたっての実務経験等	なし
②最低限有しておくべき資格・技能・知識等	高等学校卒業以上の者及び監督庁の定めるところによりこれと同等以上の学力があると認められる者。

4. 教育訓練の受講実績及び目標達成の状況

(1)資格所得状況

①前年度の修了者数	４１人		
② ①に係る教育訓練の入校者数	４５人		
③ ②の内目標達成の受験者数	４１人	受験率(③/②)	９１．１%
④ ③の内合格者数	３７人	合格率(④/③)	９０．２%
⑤ ①のうち就職者数 ※1	３５人		
⑥ ①のうち在職者数 ※2	２人	就職・在職率(⑤＋⑥/②)	８２．２%

※１は、①(前年度修了者)のうち、受講開始時に職についていなかった者で終了後に就職した者

※２は、①(前年度修了者)のうち、受講開始時に既に職についていた者で終了後も引き続きその職にある者及び別途就職した者

(2)講座の評価等

⑦ (1)-①の就職状況	卒業と同時に(正規)歯科衛生士として 37 人 (90.2%)
⑧ (1)-①による講座の全体評価	４段階（適切 4、ほぼ適切 3、やや適切 2、不適切 1）評価中：平均 2.97

5. 教育訓練の受講による効果の把握･測定方法及び受講者への明示の方法

（１に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法）

受講学生個々の各科目への出席状況及び定期試験合格状況等に基づき、各科目の理解度等を判定するとともに、定期的な個別面談により助言・指導を行っている。

6. 受講効果の把握方法

(1)受講認定基準 （６ヶ月毎の出席率・定期試験等の基準）	各受講科目について、出席率 2/3 以上・定期試験得点率 60%以上。実習は基本全出席。
(2)受講認定基準に係る教育目標に対する技能 （知識のレベル到達度把握・測定方法）	各科目について、定期試験得点は 5 段階評価(S=100 点～90 点、A=89 点～80 点、B=79 点～70 点、C=69 点～60 点、D=59 点以下)とし、60 点以上を合格。実習は実習先からの評価と担任の評価を総合し合否判定。
(3)終了認定基準 （出席率・定期試験等の基準）	全科目について、出席率 2/3 以上・定期試験得点率 60%以上により卒業単位を全て満たすこと。
(4)終了認定基準に係る教育目標に対する技能 （知識のレベル到達度把握・測定方法）	卒業認定・称号授与方針(デイプロマポリシー)として、学則第 25 条により教務会議の決議を経て学校長が卒業を認定、及び第 26 条により専門士の称号を授与

7. 受講中又は終了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

(1)受講中の者に対する習熟度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	学生個々の状況に応じて、定期的な個別面談により助言・指導・必要に応じて補講等を行っている。
(2)受講中又は終了時における資格取得・就職への具体的バックアップ体制	学生個々の状況に応じて、定期的な個別面談により助言・指導及び国試対策を行っている。又就職対策として、各種機関から寄せられる就職情報等を公開するとともに、学生個々の意向及び気質等を勘案し個別に就職支援を行っている。

8. その他の事項

指定教育訓練実施者及び代表者名	学校法人　中島学園　（理事長　中島　英男）		
住所及び連絡先	〒860-0811 熊本市中央区本荘 3-1-6　℡096-371-6581		
施設名称及び施設長名	熊本歯科技術専門学校　（学校長　中島　英男）		
住所及び連絡先	〒860-0811 熊本市中央区本荘 3-1-6　℡096-371-6581		
苦情受付者	事務長　吉田　正明	事務担当者	事務主任　西本　基子
連絡先	℡096-371-6581	連絡先	℡096-371-6581

専門実践教育訓練経費の支払い方法	①一括払　②分割払　③両方併用

1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費（①+②）　２，３００，０００円

1 入学料（税込学） ※は割引・還元措置の場合の額	２００，０００円	本校卒業生親族の場合 50%措置 ※100,000 円(-100,000)
②受講料(税込額) ※は割引・還元措置の場合の額	第１学年　第１期：３５０，０００円 〃　第２期：３５０，０００円 第２学年　第３期：３５０，０００円 〃　第４期：３５０，０００円 第３学年　第５期：３５０，０００円 〃　第６期：３５０，０００円	第１期に以下の額へ措置 ※特待Ａ：120,000 円(-230,000) ※特待Ｂ：250,000 円(-100,000) ※特待Ｃ：300,000 円(-50,000) 第２～６期は左記と同額

2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費（①+②+③+④）　８５０，０００円

①任意の教材費(税込額)	１００，０００円
②実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	０円
③施設維持費(税込額)	０円
④その他(税込額)	７５０，０００円

3. 総額（1+2）　３，１５０，０００円

（別紙）　歯科衛生士科　学の科授業単位・授業時間数

教育分野	学科名	単位	時間数	1年		2年		3年	
基礎分野		**11**	**180**	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数
科学的思考の基盤	生物学	1	15	1	15				
	化学	1	15	1	15				
	情報リテラシー	1	30	1	30				
人間と生活	心理学	2	30	2	30				
	歯科英語	2	30	2	30				
	ビジネスマナー	4	60	4	60				
専門基礎分野		**23**	**350**	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数
人体(歯・口腔を除く)の構造と機能	解剖学	1	15	1	15				
	生理学	1	15	1	15				
歯・口腔機能の構造と機能	口腔解剖学	3	45	3	45				
	口腔生理学	2	30	2	30				
	口腔生化学	1	20	1	20				
疾病の成り立ちと回復の促進	一般病理学	1	15	1	15				
	口腔病理学	2	30	2	30				
	薬理学	2	30	2	30				
	微生物学	2	30	2	30				
歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学	3	45	3	45				
	歯科衛生統計	1	15			1	15		
	歯科・公衆衛生学	2	30	2	30				
	衛生行政・社会福祉	2	30			2	30		
専門分野		**68**	**1925**	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数
歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	1	15					1	15
	有病者看護論	1	15			1	15		
臨床歯科医学	歯科臨床概論	1	15	1	15				
	保存修復学	2	30	2	30				
	歯内療法学	2	30			2	30		
	歯周療法学	2	30			2	30		
	歯科補綴学	2	30	2	30				
	矯正歯科学	2	30	2	30				
	歯科放射線学	1	15	1	15				
	口腔外科学	2	30			2	30		
	小児歯科学	2	30	2	30				
	障碍者歯科論	1	20			1	20		
	高齢者歯科学	2	30			2	30		
歯科予防処置論	歯科予防処置論Ⅰ	3	90	3	90				
	歯科予防処置論Ⅱ	3	90			3	90		
	歯科予防処置論Ⅲ	2	60					2	60
歯科保健指導論	歯科保健指導論Ⅰ	2	60	2	60				
	歯科保健指導論Ⅱ	2	60			2	60		
	歯科保健指導論Ⅲ	2	60					2	60
	栄養指導Ⅰ	2	30	2	30				
	栄養指導Ⅱ	2	30			2	30		

歯科診療穂所論	歯科診療穂所論Ⅰ	2	60	2	60				
	歯科診療穂所論Ⅱ	2	60			2	60		
	歯科診療穂所論Ⅲ	2	60					2	60
	臨床検査法	1	15			1	15		
	歯科医療事務	2	30			2	30		
臨地・臨床実習	臨地・臨床実習	20	900	2	90	10	450	8	360
選択必修分野		**9**	**240**	単位	時間数	単位	時間数	単位	時間数
	歯科医療マネジメント	1	30			2	30		
	卒業研究	2	60					2	60
	総合歯科学	5	150					5	150
合計		**111**	**2695**	**52**	**965**	**37**	**965**	**22**	**765**

（別紙）　歯科技衛生士科・使用教材

【１学年】

	出版社名	書籍名
1	医歯薬出版	解剖学・組織発生学・生理学
2	〃	口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
3	〃	栄養と代謝
4	〃	病理学・口腔病理学
5	〃	微生物学
6	〃	保健生態学
7	〃	歯の堅組織・歯髄疾患保存修復・歯内療法
8	〃	咀嚼障害・咬合異常 2 歯科補綴
9	〃	咀嚼障害・咬合異常 2 歯科矯正
10	〃	小児歯科
11	〃	歯科予防措置論・歯科保健指導論
12	〃	歯科診療補助論
13	〃	歯科材料
14	〃	化学
15	〃	生物学
16	〃	歯科衛生士のための歯科臨床概論
17	〃	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション
18	〃	歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック
19	〃	よくわかる歯科衛生過程
20	〃	チェアサイドのアシスタントワーク
21	学陽書院	最新薬理学
22	〃	わかりやすい歯科放射線学
23	実教出版	30 時間アカデミック情報リテラシー
24	クインテンセンス	歯科衛生士のためのポケット版　最新歯科用語辞典

【２学年】

	出版社名	書籍名
1	医歯薬出版	保健情報統計学
2	〃	歯周病学
3	〃	顎・口腔粘膜疾患　口腔外科・歯科麻酔
4	〃	高齢者歯科学
5	〃	障碍者歯科学
6	〃	臨床検査
7	〃	歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険
8	〃	歯科衛生士のための看護学大意
9	〃	事例でわかる歯科衛生士過程
10	〃	歯科衛生士のための歯科診療報酬入門

【３学年】

	出版社名	書籍名
1	医歯薬出版	歯科衛生士と法律・制度
2	〃	歯科衛生学総論
3	〃	徹底分析!問題集 2022 年度版